

令和7年度第2回 静岡市民生委員推薦会 会議録

1 開催日時

令和7年9月2日（火）午後6時00分から午後7時30分まで

2 開催方法

対面開催

3 出席者（五十音順）

江原勝幸委員、太田嶋信之委員、木下俊也委員、久保田良子委員、黒澤幸夫委員、
小林靖明委員、島田明彦委員、鈴木榮委員、隅倉正員委員、寺田千尋委員、藤原融作委員、
本野雄一郎委員、山梨渉委員

4 事務局

保健福祉長寿局 健康福祉部 福祉総務課 地域福祉係

5 議 事

- (1) 令和7年度 民生委員・児童委員一斉改選について
- (2) 令和7年度民生委員・児童委員候補者審査
- (3) 欠員地区の公開について

6 会議内容

- (1) 令和7年度 民生委員・児童委員一斉改選について
・事務局説明（資料1）
- (2) 令和7年度民生委員・児童委員候補者審査
（非公表（静岡市情報公開条例第7条第1項第1号に該当））
- (3) 欠員地区の公開について

・事務局説明（資料3）

・質疑、意見等

山梨 委員

この情報の公開について、他の自治体とかで公開している先進事例があるのかどうか。また、それがどのような効果があったのか。わかりましたら教えてください。

福祉総務課

市町自治体名の例示ができないところで恐縮なのですが、欠員地区を公開している自治体はいくつかございます。

その上で、どのような公開の仕方をしているかと申し上げますと、あまり細かくまで、Webページで公開してるところはないという状況です。

Web ページに公開しているところについては、状況を問い合わせしてみたところですが、やはり公開をすることで、興味があるという声、委員になりたいという声を Web ページの公開情報と一緒に記載をしております行政の担当部署に対して一、二件いただけました事例があると聞いております。

このことから、静岡市でもウェブサイトによる公開自体は、少なからず、そういった部分に寄与できるのではないかと考えている次第です。

久保田 委員

Web サイト公開イメージについて、実際に読み手の立場になって読んだときに、こういう仕事なんだとか、民生委員の情報で知らなかったことも知ることができて、とても一市民としていいなと思いました。

実際自分の父親が民生委員の方に助けられたことがあり、具合が悪くなったときにお電話いただいたのが民生委員の方だったんです。

いないとどうなるのという項目があるのですが、こういう助かった事例や離れて住んでいる子供が安心できた事例などを載せていただきたいと思います。民生委員の仕事はなくてもいいとならない様にも、委員の仕事に感謝した事例を自分の中に持っているので、市民の声のようなものを取り入れていただけるといいなと思いました。

福祉総務課

静岡市民生委員児童委員協議会が、令和 3 年に民生委員の活動事例をまとめた冊子を作成しています。これは静岡市民生委員児童委員協議会のものですので、行政が勝手に使うことはできないのですが、協議会と連携をとっていきながら、広く市民の方、地域住民の方に民生委員の活動や必要性を PR していきたいと考えます。

黒澤 委員

民生委員の立場から発言します。活動していて民生委員の知名度が低いように感じます。民生委員は地区における活動自体を行いますので、我々が広報・宣伝し、広げていくことがなかなかできません。このため、民生委員というのは名前は聞いたことあるけども、何をやってるかわからない市民がほとんどだと思います。行政などには、民生委員の活動を宣伝するにあたっての些細なヒントでも構いません。簡単なチラシでもいいのですが、それを出してもらえると、回覧板で各地域に広がるのではないかと思います。我々は個々で地域活動しているので、近所の人たちは理解してくれているのですが、離れたところへ行くと、全然知名度がありません。だからもう少し自治会も含

め、行政も含め、我々の活動を宣伝してもらえれば知名度が上がってくるといつも思います。

また、先ほどの民生委員がいない地区についてです。空白地域のところの活動をどうするんだという話ですが、我々も空白地区については、できれば活動したいという気持ちもあるのですが、知らない地域という不安要素もあります。不審者として訴えられたことがあったという話も聞きます。このため、「私がやります。」と率先して活動するというのはなかなかできにくいところでは。その地区それぞれでもって、民生委員の活動のために、宣伝してもらえればありがたいといつも思います。自治会も含め、行政側もやはり、宣伝というのは、もう少しちょっとやっていただきたいなといつも思います。

鈴木 委員

私は連合自治会をやった経験がありますが、守秘義務があるからってということで、民生委員の方がお話ししてくれないことがあります。

いろいろな問題が出てきても守秘義務があるということで、「これは話をすることができません。」ということで、話を切られちゃうわけなんです。そういうことが今まで何回もあったんですが、守秘義務というものはあまり感じてないのでしょうか。

黒澤 委員

我々も法的に個人情報を守らなければならないんですが、守秘義務はありますけどもただ、「民生委員をやっています」ということは守秘義務に当たるものではないので我々も宣伝します。地域住民によっては、民生委員に話をしてしまうと内容が広く知られると思いきや嫌がる人もいるかもしれません。そのように抱く人がもしあれば、それはもう守秘義務があると言っても断られます。ですが、我々は元々個人情報は絶対に流さないという守秘義務があります。

鈴木 委員

連合自治会をやったときに、本当に困ってしましまして。そういう話を持って来られるわけなんですけど、その前にちょっとでもいいから話をしてくれれば、早めの解決ができたのではないかなってということも多々ありました。だから、守秘義務の問題がどのようになってたのかと感じました。

黒澤 委員

我々は相談に対して解決するという立場ではありません。関係機関に繋げるっていうのが一番の活動です。だから、どんな些細なことでも相談が来たら、相談先に関する知識は我々にはありますので、社協に繋げようか、あるいは、子供に関することだから児童相談所かというように繋げています。関係機関につなげて、問題の解決をしてもらってます。

入り口とといいますか、我々は些細な情報でももらえれば、その人たちを支援に繋げていきます。

本野 委員

生活保護の方々の支援に関しては非常に民生委員の方々の活動に助けられている状況があります。今の鈴木委員と黒澤委員の話には二面性あると思ひまして、最初のお話の認知度・知名度は、民生委員さんの活動の中で、相手方が「あなたはどなたですか。」みたいな認知度の部分のところ。そして、実際に生活に困ってる方が民生委員さんや自治会の会長とかを頼る場合は、（民生委員や自治会について）わかってらっしゃる方々だと思います。

黒澤委員がおっしゃるのは、入り口の部分で一般の方々がもっと民生委員の活動を知ってもらいたいというお話だったと思います。たしかに、民生委員が連合自治会も間に入ってこれながら活動いただく中で、生々しい部分があり、お話していただきましたが、ここでは入り口の一般的な認知度を高めるためには、どうしたらいいのかという部分をお話できれば一番いいのかなと思ひました。

鈴木 委員

連合自治会のおときはやはり民生委員の守秘義務の問題がありまして、他の人にみんな喋るっていうことは、まずそれはできませんが、ただ、そういう問題を早く言ってくれば、早く解決ができたんじゃないかなという事例がありましたので、発言させていただきました。

本野 委員

ウェブページについては、久保田委員の好事例のお話だけではなく、それを市民にわかりやすく、柔らかい言葉で掲載する。全体的に言葉が硬い雰囲気を受けたので、市民の方に語りかけるような感じで表現してみたいかでしょうか。せっかく載せるのであれば、客観的に見ればこれだけ足りないんだということはあるのですが、今こういう状況なんですよという部分で、各地域からのメッセージを掲載するなど本当に訴えかけるような言葉を入れるだけでも変わってくるかなと思ひます。この載せ方の工夫をやっていただければありがたいと思ひます。

島田 委員

本当にウェブサイトはいいなと思ひました。ただ、私がもし民生委員になるとしたときに、相談を受けることにたいして「大丈夫かな？」と思ひてしまいます。例えば、研修会を開催したり、マニュアルがあったり、相談ができたというところを、民生委員をやるかもしれないという方が見る想定で掲載を考えるといいと思ひました。あとは、民生委員ご本人たちの意

見ですとか、あるいは久保田委員が言いました感謝の声なども含めて載せると本当にいいなと思いました。

島田 委員

充足率と書いてありますが、何%っていう数字があるべきだと思います。しかし、%にしてしまうと、伝わらないかなとも思うので、私としては欠員のところは色が変わるなど、欠員状況がパッと見てもわかるように、「大変なんだな。」と思ってもらえるように、ぜひやってみたいなと思ってもらえるように、ぜひ訴えてほしいなと思いました。

太田嶋 委員

このWebサイトの公開イメージで見て、お役所的に感じました。タイトルを読みたいと思うようなものにするといいと思いました。

ただ、欠員地区の公開ということだけをイメージしてると思われますが、同時に基本的な考えの中にある「候補者を確保する」ことにも繋がるのではないかなと思ひまして、魅力的なタイトルにして事務的ではない柔らかなソフトな感じで民生委員の魅力をアピールして、地域の皆さんに民生委員に興味を持っていただいて、応募や活躍したいという気持ちに繋がるといいと思います。”

太田嶋 委員

また、先ほどの資料2を見て思ったのですが、やはりだんだん高齢化してしまっていて、仕事持ってる人がすごく増えています。高齢者でも、仕事を持ちながらでも、民生委員の仕事ができるということを考えなければと思います。そんな状況でも民生委員の仕事はできますとう、熱意と意欲があればできますということを、このページ優しく表現して、読みたいと思うような気持ちにさせることが大切だと思います。

太田嶋 委員

また、悪用の防止について、悪用とはどのようなことを考えていますか。

福祉総務課

民生委員地域には、住民の方から、「このような訪問があったけど、これって大丈夫かな。」といった心配事の相談が入る場合も多いと聞きます。そういった意味で、欠員状況を細かに示してしまいますと、逆に犯罪を企てようとしている者から見れば、地域のウィークポイントとして映り、犯罪に繋がる可能性があるということで、悪用という言葉を使い表示しました。

太田嶋 委員

たしかに配慮する必要があるのですが、あんまりこだわってしまうと、消極的になってしまうので、これも配慮しつつ、なおかつ幅広く、やってみたいって人が出てくるように、このウェブサイトを開きたいなと思います。

寺田 委員 日頃、児童も含め障害者の方の支援について、民生委員・児童委員の皆様にはご協力いただき、感謝申し上げます。その中で、なり手がなくなると、障害のある方が自立して地域で生活するとか、虐待受けている児童が早期発見されるとか、そのあたりができなくなっていく、また遅くなってしまうことに繋がると思います。困難な世帯ほど、民生委員の協力が絶対必要だということで、公開すること自体はいいかと思いますが、ただ、Webサイトに公開するのみでは、そこに情報を取りに行くだけになってしまうと思われます。みたい人は見るけれども、関係ないなと思っていたり、自分は困っていないという世帯には届かないと思われます。

寺田 委員 なのでぜひ、回覧板などで先ほどの、良かったことや温かいエピソードなど、民生委員さんたちの活動、児童委員さんたちの活動について、こういうことしてるんだよというものを、写真であったりを使用しながら活動内容を細かく掲載いただいて、目に触れる回数を増やしていく。そういうことで、民生委員さんの数を増やしていくという取り組みは、すごく有効ではないのかと思いました。欠員状況だけを報告するだけだと、結局のところ民生委員のなり手不足には繋がらないのかなと思います。ぜひ、SNSでの発信なども含めて、やってみたいなっていう気持ちになるような広報活動を期待します。

太田嶋 委員 回覧板は町内に入っていない人には回らないと聞きますが、どうなのでしょう。

小林 委員 清水の場合は、生涯学習交流館に置いてあります。私のよく訪れる交流館ですが、パンフレットなどもおいてあり、大勢とは言いませんが、皆さん覗いて持っていきます。

木下 委員 各地区回覧板ということですが、事務局側でモデルは作成していますでしょうか。ウェブページのイメージはありましたが。

福祉総務課 現時点では作成しておりません。

というのも、回覧板などの手法も含めて、対象地域の民生委員や自治会町内会の意向を汲んだうえで作成したいと考えておりました。”

木下 委員 私は宮竹の連合会長をしています。1人民生委員が足りない状況です。この話し合いに加わると、連長として回覧板を出して各家庭に呼びかけたいなと思いました。回覧を出すにあたっては、自治会連合会ごとになりますので、全地区ではなく欠員の状況がある地区について、情報を共有すべきと考えます。

おそらく他の連合自治会においても、欠員状況があるのであれば、前向きに取り組みいただけるのではないかと考えております。

黒澤 委員

候補者推薦の話の際に、福祉総務課さんで作ってくれたパンフレットがあります。このパンフレットが非常に我々にとってありがたいものでした。自治会長のところに届いていれば、回覧板などで回っていたかもしれません。

福祉総務課

パンフレット形式のものとチラシ形式のものを作らせていただきまして、昨年度推薦のお願い時に単位自治会長な会長様にお配りをいたしました。

本野 委員

自治会の中の隣組の組長を2年続けてやっています、回覧板は高齢者の方しか見ないかもしれません。若い方はなかなか中身を見てもらえない。若い方も含めて認知度を高めたいということになると、回覧版という形も一つの方法としてはいいけれども、見る方は限定されるということを念頭に置いていただきたいと思います。また、回覧は10種類や20種類のチラシが含まれる場合もあります。多い月はその情報に埋もれてしまう場合もあります。それであれば、民生委員さんに協力してもらって、普段見れるところにチラシを貼っていただくという考えの方が、若い人の目に入ります。ただ自治会の掲示板では、情報が多く掲示できないので、民生委員さんや協力者のお宅の一部に貼る方が効果的だと思うので、一番効果のある方法を考えただいただければと思います。

江原 委員

様々なご意見出ましたけれども、この公開についてはこれを踏まえて検討しながら進めていっていただきたいと思います。本日予定されていた議事は以上となりますが、最後に全体を通してご意見もしくは議事について改めて確認したい事はございますでしょうか。

全委員

(意見なし)